

大学名	チーム名(プロジェクト名)		
グローバル人材開発センター	ねんじゅらー(数珠の輪プロジェクト)		
参加学生 (登壇者★)	★山本 恭督 (京都産業大学 法学部)3回生 ★小室 美月 (同志社大学 商学部)3回生 ★藤野 早耶 (同志社大学 商学部)3回生 ★藤井 渚 (佛教大学 社会学部)3回生 ★長谷川ゆか(佛教大学 社会学部)3回生	連携先からの ミッション	板倉が数珠にこめる「想い」を伝える ためのアイデア出し ↓ アイデアの実行
活動期間	2020.07.05～ 現在継続中	受け入れ先 団体・企業名	株式会社意匠京念珠板倉

ミッションへ取り組み概要(自由記述, 図表・画像挿入可)

### 『プロジェクトの流れ』

1. グローバル人材開発センター主催のプロジェクトにて企画の提案
2. プロジェクト終了後、学生が企業代表に提案内容の実行を請負い、**学生主催プロジェクト**が開始
3. questionで販売イベントを行う
4. 学生製作の商品を**ブランド化**
5. 百万遍手づくり市に参加

### 『グローバルセンター主催プロジェクト』

板倉が数珠にこめる、「数珠を持つ人の幸せを願い、お守りとなって欲しい」という「想い」を伝えるため、以下の3つのアイデアを提案

#### 1. 大学連携

理由: 市場縮小のため、認知向上を図り顧客増加を目的とする。

#### 2. 着物に合う念珠アクセサリー製作

理由: 市場縮小のため、若者をターゲットとした商品を提供し、市場拡大・利益向上を目的とする。

#### 3. 季節限定商品の提供

理由: 季節限定商品の提供で、顧客が定期的にHPを訪れるようにし、購買促進を目的とする。

### 『学生主催プロジェクト』

大学での連携方法を模索する。

SDGs的観点から、**余り珠**を用いた**アクセサリー**を製作する。

作成したアクセサリーをquestionでのイベントで販売し、製品の改善。ブランド化。

百万遍手づくり市で販売。販売促進方法の改善。Instagramの活用を行う。

**伝統産業の持続可能性を高めるために収益モデルを変更する。**



ミッションに取り組む中で社会的課題として見えてきたこと(ミッションと深く関わる社会的な課題)

#### 1. 伝統産業業界の人手不足

人手不足が波及し、あらゆる問題を引き起こしている。具体的には、人材の多様性が失われイノベーションが起きにくくなり、製品がコモディティ化することにより市場縮小に繋がる。その他にも、データが蓄積されておらず、客観的な判断が困難となることなど。

#### 2. 日本の生活様式の変化

洋風の生活様式へと変化することによって、需要が減少し、伝統産業の持続可能性が低くなる。